料金別納

ゆうメール

和らぎながら、和らげながら、和らいでいる。

やはらぎ通信

YAWARAGI TSUSHIN

2018

8 August

Vol.03

暑中お見舞い申し上げます。
上布・紗・絽・そして浴衣。夏きものはとっても多彩。
着方やコーディネート次第で涼しげに見えます。
打ち水、風鈴、扇子、そして夏きもの。素敵な夏をお過ごしください。

8月 August

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
		8/1 着付け教室	2	3 茶道教室	4	5
6 サマー大 SALE	7 着付け教室	8 着付け教室	9	10	11	12
13	14 着付け教室	15 着付け教室	16	17	18 大振袖展 & フォーマルフェア 工芸染匠 成謙展 ～京友禅 古典からモダンまで～	19
20 大振袖展 & フォーマルフェア 工芸染匠 成謙展	21 着付け教室	22 着付け教室	23	24 茶道教室	25	26
27 大振袖展 & フォーマルフェア	28 着付け教室	29 着付け教室	30	31		

成人式や卒業式のきもの、夏休みのうちにセレクト！振袖・訪問着

大切な節目を、大和撫子らしく。
逸品振袖

「室町京正」 菱紋向かい鶴

娘時代にしか着ることができない振袖。お嬢様が一番美しく輝く時に、一番美しく魅せることができる振袖を。
お嬢様からそのお子様、お孫様まで引き継いでいただける逸品振袖をご用意いたしております。

バッグ・草履・コサージュなど小物類も取り揃えております。
お気軽にお声をおかけください。

ご家族の大切な記念日、格式ある姿で。
逸品訪問着

「吉澤家・吉裳堂」 段替わり訪問着

揺るがない品格にこだわり、伝統を守りながら新しさを取り入れたやはらぎの訪問着。
大切なご家族の、大切なご友人の、お世話になった方のための大切な日に、心からのお祝いの気持ちを装いに表して。

各教室・和の塾の詳細、
また日時が変更となる場合もございますので、
事前にお問い合わせください。

お問い合わせ
きものぎゃらりぃ和　TEL.073-433-3567

8/6 月曜日 - 8/7 火曜日

二日限り！ サマー大 SALE

夏すくい名古屋九寸帯　98,000 円	→12,000 円（3 本限定）
秦流舎紋紗着尺　380,000 円	→88,000 円（3 本限定）
絹芭蕉夏手描き九寸帯　280,000 円	→68,000 円（3 本限定）
小千谷ちぢみ　58,000 円	→10,000 円均一（10 本限定）
夏帯八寸　58,000 円	→半額（8 本限定）
大島紬　280,000 円	→60,000 円（6 本限定）

「本物」がお手頃価格で手に入る限定二日！その他夏物在庫や大幅出血大奉仕！

8/18 土曜日 - 8/20 月曜日

工芸染匠　成謙展 ～京友禅 古典からモダンまで～

創作にこだわり、独自の生地、悉皆を通して、
糊糸目友禅にこだわりを持ったもの創り

一意専心の優れた技術の最高峰の職人とともに、きもの創りを続けてきた成謙工房。古典的ながら古さを感じさせず、雅やかな雰囲気と現代風の洗練された感覚を追求したその作品たちは、多くの人を魅了します。

昨年の人気 TV ドラマ「黒革の手帖」で主人公の武井咲さんが着ていた着物のほとんどが成謙の作品です。一人の女性が美しく妖艶に花開いていく様子を、成謙友禅が彩っています。

昨年 2017 年やはらぎでの「成謙展」も、友禅ファンの方が多くご来店くださいました。お客様と「黒革の手帖」ごっこ☆もしましたよ。

成謙工房の京友禅の最大の特徴はその配色と挿し色の美しさ。効き色とそれを受ける色との絶妙なバランスが着物ファンのみならず、京都の伝統ある花街の人々をも魅了し続けているのです。またイタリア・フランス・ニューヨークなど世界の美術工芸ファンからも絶大な指示を得ています。

蜀江文染名古屋帯

古代中国との交易で「蜀江錦」と言われる織物が日本で流通し日本を代用する文様の一つとなった。古来より格調高い文様であることから、寺院の天井絵、書画の表装、能装束などの文様に使用されている。その柄を重めの塩瀬生地に表現し、名古屋帯ながら品格の高い作品となっている。

葡萄蔓草文様 京友禅付下げ

成謙が最も得意とする構図である。一つの葡萄蔓草の繊細で柔らかな流れを糸目糊で巧みに表現し、奥行きのある美しい景色を生み出している。また地色も濃色と淡色を刷毛で引き染し表現することでより一層の立体感を生み出している逸品である。

霞取り線 波文様付下げ

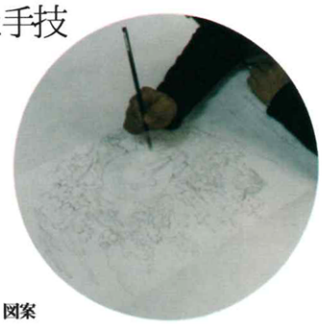
京友禅技術の大きな特徴である糸目糊によって、繊細ながらアクセントのある波の表現に金加工を施し、霞の中にそれを表現することで、品格とシンプルな着姿の美しさを表現した逸品。

京友禅は 20 を超える工程をそれぞれのスペシャリストが担い、作品を作り上げてゆきます。欠かすことのできない品格を追求するために、古格を守り伝統的な糊糸目友禅技法を保ちながら創作に邁進しています。

匠の熟練した手技

下絵

意匠図案に基づいて、仮絵羽された白生地に、青花液で模様を描いていきます。



図案

様々な風景や資料などをモチーフにしてきものでどう表現するかを想像しながら描きます。

色挿し

色々な筆を駆使して糸目防染された模様のところに色を挿していきます。薄い色から濃い色へ、順に進めていきます。

糊糸目

下絵の線に沿って糸目糊を置いていきます。これは、挿友禅の際、染料がにじまないように防染する働きがあります。

引き染め

染料を刷毛でムラの出ないように染めていきます。濃い色は 2～3 度重ねて染め上げます。

成謙工房代表取締役社長
渡辺賢太朗プロフィール

京都美術染色協会会長
京都工芸染匠協同組合会員
特定非営利活動法人きものアルチザン京都メンバー
一般社団法人イマジンワールド制作メンバー
作風は琳派や伊藤若冲などのモチーフを得意とし、その大胆かつ独自性の高い構図表現と友禅の挿し色表現が国内はもとより海外でも高く評価されている。彼が二代目を務める成賢工房は、京都では数少ない自社内での図案、糸目、色差しなど友禅の主要工程を行う文字通り「工房」である、

日時：18 日 11：00～18：00
19 日 11：00～18：00
20 日 11：00～17：00
場所：きものぎゃらりぃ和

最終日 20 日は 17：00 Close

やはらぎお稽古サロン

着付け教室・茶道教室

受講者募集中！

きものコンシェルジュ コラム

帯結びには、色々な結び方がありますが、その中でも太鼓結びは最も馴染みのある結び方だと思います。
さて、この太鼓結びはどうして出来たのでしょうか？
太鼓結びの始まりは、かるた結び（元来は男結び）を広くしたとも、柳結びの帯結びを短く折り上げたとも言われています。
その昔、深川門前仲町の芸者が亀戸天神の太鼓橋の渡り初め式に結んだ帯が、この太鼓結びだったそうです。
当時は、男尊。女性はなかなか公の場には出られない時代。
そこで、男装またはその姿に近い装いを…との事だったそうです。
今では、女性らしい太鼓結びですが、元来はボーイッシュな装いだったのですね。（諸説あります）

きものお手入れ110番　ご質問募集中！プロがお答え

「きものお手入れ 110 番」では、皆様のきものに関する疑問・質問を大募集中。答えてくださるのは、なんと伝統工芸士の土本豊彦先生。！どしどしお寄せください！　info@kg-yawaragi.com

やはらぎおすすめ・お役立ち情報

さくさくぷらす 半襟つき T シャツ

T シャツ形半襦袢登場！T シャツの衿が半衿になっているので、市販の差し込み芯を通してすっぽり着るだけ。繰り越しはきちんと計算されていて、きものを着たときに自然に衣紋が抜けるようになっています。どんなに動いても衿合わせがずれず、きものも着崩れしにくい！衿の種類もシンプルからキュートまで。本体は綿 100％天然素材を使用。なめらかで上質な生地が着心地が◎。

たかはしきもの工房 「裾除け」

きものを着る時の悩み解消に！「裾よけ」をはじめとする新発想肌着満点シリーズ。綿 100％の天然素材「キュプラ生地」を使用。静電気が起こりにくく、裾さばきも軽快。特に汗をかく膝裏と、女性のデリケートな部分には防水布を施し、汗、生理、尿漏れの汚れからきものを守ります。膝裏のシワや汗ジミ、座った後のきものの貼りつきなども緩和☆

大振袖展＆フォーマルフェア
2018年8月18日（土）～27日（月）

振袖セレクション

セット価格　198,000 円（税別）～
28 万円以上お買い上げの方には 10 大特典付き！

さいきんのやはらぎ

黒澤桐材店 × おはりばこ 「下駄ばこ」in やはらぎ、盛り上がりました！桐下駄の最高峰と言われる「会津桐下駄」は、男前・別嬪さんになれる下駄。自分ごのみの、履くたびに足に馴染んでくる魔法のような下駄がたくさんで（～TV イッピン～でも紹介されたんですよ！）お客様は目移りしっぱなしのようでした。上品で可愛いつまみ細工小物の「おはりばこ」さんは、職人である社長、女将さんもいらしてコーディネートアドバイス。リアル男前＆別嬪さんのアドバイスは説得力マシマシでした！つまみ細工ワークショップも大盛況☆
創作きもの と ヒカリウム展～目白 花想容 中野光太郎さんを招いて～では、やはらぎ店内に「東京着物ショー」でも展示されていたオブジェが設置され、いつもの店内が異空間に！いるだけ見るだけで癒される不思議楽しい時間となりました。
ダイワロイネットサンクシェールで行われた、和歌山県中小企業家同友会　女性部会＆青年部会 合同交流会「第 4 回 ゆかたまつり 2018」に、やはらぎも参加させて頂き、及ばずながら浴衣の着付けをさせていただきました。普段スーツでバリバリ仕事をされている社長さんたちが、浴衣を身につけてニコニコされている姿はとっても素敵でした。角帯、半巾帯の結び方の紹介などもしました！楽しかったですね～

きものぎゃらりい 和（やはらぎ）
和歌山県和歌山市七番丁 26-1　ダイワロイネットホテル和歌山 2 階
TEL:073-433-3567　http://kg-yawaragi.com